

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：村上 一弥

事業名 一般国道7号 <small>しもはま</small> 下浜道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：秋田県秋田市下浜羽川 <small>あきた しもはまはねかわ</small> 至：秋田県秋田市浜田 <small>あきた はまだ</small>		延長 6.2km
事業概要 一般国道7号は、新潟県新潟市から青森県青森市に至る約534kmの主要な幹線道路である。 下浜道路は、秋田県秋田市内を通過する延長6.2kmの4車線道路である。		
H19年度事業化	H18年度都市計画決定 (H-年度変更)	H21年度用地着手
H21年度工事着手		H21年度工事着手
全体事業費	177億円	事業進捗率 60%
計画交通量	21,400台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 2.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 132億円/190億円 (事業費: 101億円/159億円) (維持管理費: 31億円/31億円)
総便益 (残事業)/(事業全体) 349億円/349億円 (走行時間短縮便益: 336億円/336億円) (走行経費減少便益: 13億円/13億円) (交通事故減少便益: 0.82億円/0.82億円)		基準年 平成26年
感度分析の結果 【事業全体】 交通量 : B/C=1.6~2.1(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.7~1.9(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.7~2.0(事業期間±20%)		
【残事業】 B/C= 2.2~3.0(交通量 ±10%) B/C= 2.5~2.9(事業費 ±10%) B/C= 2.4~2.8(事業期間±20%)		
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・並行区間等の渋滞損失時間：11.8万人・時間/年、渋滞損失削減率：約10割削減 ②安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス性が向上 (秋田市下浜地区～秋田大学医学部附属病院 現況：36分⇒整備後35分) ③災害への備え ・秋田県緊急輸送道路ネットワーク計画において、国道7号が「第一次緊急輸送道路」に指定		
関係する地方公共団体等の意見 ○秋田県知事の意見 国道7号は、県都秋田市と県内主要都市を結ぶ幹線道路ではありますが、秋田市下浜地区においては、幅員が狭く、沿道に民家が連なるため、交通混雑が慢性化するなど、主要幹線道路としての機能が著しく低下しています。 このため、交通混雑の解消とともに、沿道環境の改善、歩行者の安全確保、緊急時の代替路確保等を行うため、当事業の継続に異議ありませんので、引き続き、早期供用に向けて事業の促進をお願いします。 ○以下の団体等から、下浜道路の整備促進について要望あり ・国道7号下浜道路建設促進期成同盟会 ・秋田県知事 ・秋田県議会 ・秋田市西部地区振興会連絡協議会 ・日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県南部期成同盟会		
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率60%、用地進捗率100%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない ・平成31年度に暫定2車線で開通予定		

施設の構造や工法の変更等

- ・橋台背面部盛土にFCB（気泡配合軽量土）を配合

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

国道7号下浜地区における交通混雑の解消、沿線通学路の安全確保、沿道環境の改善、緊急時の代替路確保のため早期整備の必要性が高い

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。